

平成 30 年度

# 学内ワークスタディ

学内環境改善アンケート  
実施結果記録

修学支援課

## 学内環境等改善アンケート概要

対象：宇都宮大学全学部学生 293 名

アンケート実施期間：平成 31 年 1 月 8 日～平成 31 年 1 月 31 日

アンケート方法：質問紙または web を使用。

目的：学生による学生へのアンケートを実施することを通して、学生の学内環境に対する現状を把握し、今後の学内環境等をよりよくするため。

質問内容

## 学内環境改善アンケート

( \_\_\_\_\_ ) 学部 ( \_\_\_\_\_ ) 学科 ( \_\_\_\_\_ ) 年

✚ 講義で使用する教室などの学習環境（照明・機材・空調）についてお聞きします。

**質問1**：照明に満足していますか？

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらかといえば不満 4. 不満

**質問2-1**：質問1で3.『どちらかといえば不満』4.『不満』を回答した方に質問します。

照明のどのような点に不満を感じますか？（複数回答可）

1. 照明が暗い 2. 照明が見つからない 3. 照明が明るすぎる 4. 照明がチカチカする  
5. その他 ( \_\_\_\_\_ )

**質問2-2**：質問2-1の項目において、具体的な場所についてわかる方は下記にご記述ください。

**質問3**：機材に満足していますか？

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらかといえば不満 4. 不満

**質問4-1**：質問3で3.『どちらかといえば不満』4.『不満』を回答した方に質問します。

どのような機材に不満を感じますか？（複数回答可）

1. パソコン 2. プロジェクター 3. 印刷機 4. その他 ( \_\_\_\_\_ )

**質問4-2**：質問4-1の項目において、問題点や具体的な場所についてわかる方は下記にご記入ください。

**質問5**：空調に満足していますか？

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらかといえば不満 4. 不満

**質問 6-1**：質問 5 で 3. 『どちらかといえば不満』 4. 『不満』を回答した方に質問します。空調のどのような点に不満を感じますか？（複数回答可）

1. 温度 2. 臭い 3. 騒音 4. その他（\_\_\_\_\_）

**質問 6-2**：質問 6-1 の項目において、具体的な場所についてわかる方は下記にご記述ください。

✚ 次にトイレについてお聞きします。

**質問 7**：トイレに満足していますか？

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらかといえば不満 4. 不満

**質問 8-1**：質問 7 で 3. 『どちらかといえば不満』 4. 『不満』を回答した方にお聞きします。トイレのどのような点に不満を感じますか？（複数回答可）

1. 設置場所 2. 清潔さ（臭い・汚れ） 3. 音姫が使用できない 4. 和式トイレ  
5. 多目的トイレが少ない 6. 備品欠如（ペーパー・石鹸等）  
7. その他（\_\_\_\_\_）

**質問 8-2**：質問 8-1 の項目において、具体的な場所についてわかる方は下記にご記述ください。

✚ 次に駐輪場についてお聞きします。

**質問 9**：駐輪場に満足していますか？

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらかといえば不満 4. 不満

**質問 10-1**：質問 9 で 3. 『どちらかといえば不満』 4. 『不満』を回答した方に質問します。駐輪場のどのような点に不満を感じますか？（複数回答可）

1. スペースが狭い 2. 街灯が少ない 3. 屋根がない場所がある  
4. その他（\_\_\_\_\_）

**質問 10-2**：質問 10-1 の項目において、具体的な場所についてわかる方は下記にご記述ください。

✚ 次にサークル棟についてお聞きします。

**質問 11-1**：サークルに所属していますか？

1. はい 2. いいえ

**質問 11-2**：質問 11-1 で 1. 『はい』と回答した方はサークル名を下記にご記入ください。

**質問 12**：サークル棟を使用していますか？

1. はい 2. いいえ

**質問 13**：質問 12 で 1. 『はい』と答えた方はサークル棟の改善点（例：冷暖房・照明・ゴミ箱・清潔性など）を下記にご記入ください。

✚ 次に個人ロッカーについてお聞きします。

**質問 14**：個人ロッカーを使用していますか？

1. はい 2. いいえ 3. 存在を知らない

**質問 15**：質問 14 で 2. 『いいえ』と回答した方にお聞きします。なぜ使用していないのか、理由がありましたら下記にご記入ください。（例：場所がわからない）

**質問 16**：質問 14 で 3. 『存在を知らない』と回答した方にお聞きします。個人ロッカーがあったら使用したいですか？

1. はい 2. いいえ

**質問 17**：個人ロッカーについて、ご意見等がありましたらご記入ください。

✚ 次に学習スペース\*についてお聞きします。

\*学習スペースとは、ラーニングコモンズや図書館などの勉強・授業関係で使う場所のことを示します。

**質問 18**：学習スペースに満足していますか？

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらかといえば不満 4. 不満

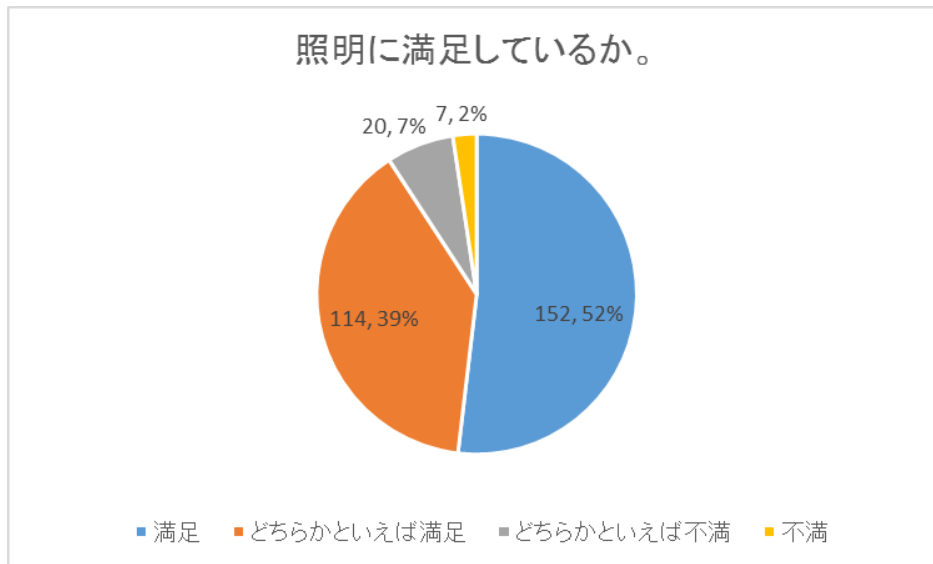
**質問 19**：質問 18 で 3. 『どちらかといえば不満』 4. 『不満』 と回答した方にお聞きします。学習スペースのどのような点に不満を感じますか。下記にご記入ください。

その他、学内環境についてお考えやご意見等がありましたら下記にご記入ください。

## 結果

### 学習環境（照明・機材・空調）について

#### ◆ 照明



#### \*どちらかといえば不満/不満と回答した人の意見

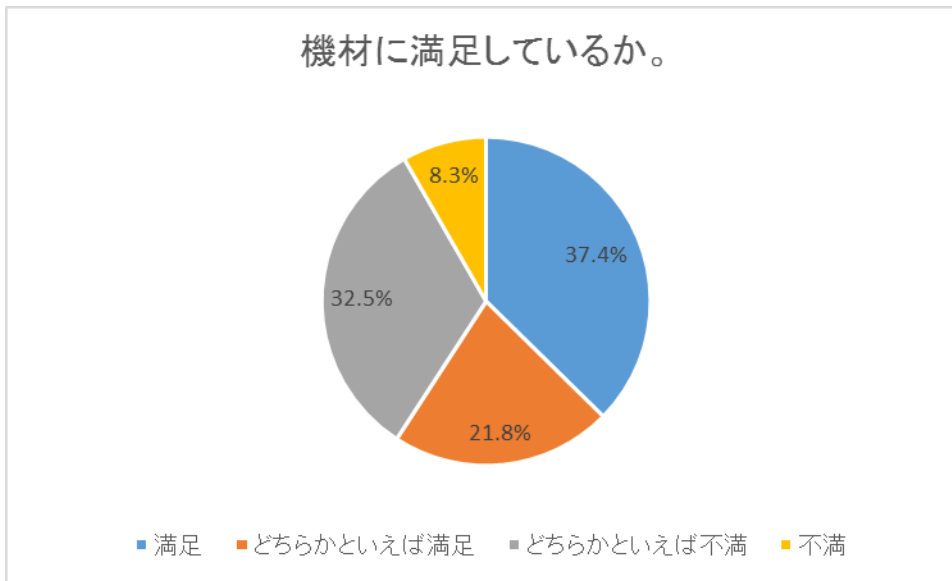
- ・照明がチカチカする。
- ・暗い。(例：6号館、8号館)
- ・キャンパス全体が暗い。(地域デザイン科学部)
- ・手元が明るくない。(地域デザイン科学部)
- ・建築をしていると影が大きくできてしまうので影の映り込みを減らしてほしい。  
(地域デザイン科学部)

#### \*改善案

照明機器の改善点としては、照明の数や設置場所による建物全体の暗さ、機器自体の明るさ、機器から放たれる光の方向などに意見が上がった。そのため、以下のような案を考える。

- ・建物全体の暗さ→建物内の照明の設置場所を増やす（臨時の照明スタンドや床面に置ける照明機器など）／センサー式の場合は、センサーで反応する機器の場所を変える。
- ・機器自体の明るさ→現在使っている照明の明るさを確認し、それよりも低く、教室の規定にあった明るさのものに変える。／チカチカした場合など、照明の不備に備え どこに照明の予備があるかなどを教員や学生に周知する。
- ・照明の光の方向→予算などの融通が利く場合には、光の方向を変えられる可動式の照明に変更する。／大掛かりな設置ができない場合は、クリップ式の照明をいくつか用意して、貸出などの措置を取る。

◆ 機材



\*どちらかといえば不満/不満と回答した人の意見

・印刷機

カラー印刷できない。

印刷機の数が少ない。

図書館のパソコンの印刷のやり方が分かりにくい。

A4以上のサイズを印刷したい。

・プロジェクター

繋がりにくい教室がある。(例：8D11、4号館、5号館、AL教室)

スクリーンが見づらい。

・パソコン

コモンズのパソコンの台数が少ない。

パソコンの起動が遅い。

・Wi-Fi

繋がりにくい。

接続方法が面倒。

\*改善案

○印刷機について



カラー印刷：コピー機によってはモノクロ印刷でもカラーインクが入っていると、図らずもカラーインクを使用する場合があるので、単にカラー印刷機を増やすことは短絡的である。一方、学科によってはカラー印刷機を個別に購入し使用していたこともあるが、これでは誰もが使えるわけではない。そこで、以下3つからなる改善案を提示する。

- ①カラー印刷機が設置された部屋を学部ごとに用意し、
  - ②印刷前にどのようなもの（プレゼン資料や画像入りレポートなど）か、何部必要かを記入する・もしくは記入後の口頭での確認の措置を取る。
  - ③その後、（基盤センターシステムへのログインがあるかもしれないが、）USBメモリ等を利用して当該資料の印刷を行う。
- 無駄に印刷するなどの特段の問題がなければ、②のステップを省くなど、柔軟な対応を求める。

印刷機の数・A4サイズ以上の印刷：現在はPCが設置されている部屋に印刷機もある、という形が多いと思われるが、カラー印刷・A4サイズ以上の印刷のことも含めて、改善案を提示する。

- ・今ある部屋に、さらに印刷機を増やす。
- ・もしくは、学部ごとに、「印刷するための部屋」を設置する。  
設置する時には、モノクロ印刷機がカラー印刷機より少し多いくらいの比率が良い。（モノクロ印刷でも良い時に、印刷機の使用が混んでいることを踏まえる。）
- ・印刷機の種類については、モノクロ印刷・カラー印刷の場合には、市販品の手差しタイプでも良いと考えるが、1台は必ずA4サイズ以上の印刷ができるものを用意する。（現行では、A4サイズ以上の印刷をする場合は、個人的な印刷機か、コンビニ等で印刷することが多いからである。）

図書館におけるPC経由の印刷について：図書館でのPC印刷は、一旦印刷データを印刷用PCに送り、そこにログインをして、送られたデータを印刷するという形である。これは、印刷が何らかの原因（データが間違っていた、印刷機が処理できなかったetc.）で失敗したときに、そのデータが消されないことで、誰かの印刷用紙（手差し）が無駄になってしまうことを防ぐ方法である。

意見にあがっている、「印刷のやり方が分かりにくい」というのは、本当に印刷方法がわからないことと、もっと簡単なやり方で印刷したいということだと想定する。

本当に印刷方法がわからない場合：

現在、図書館の印刷用PCの近くには使用マニュアルが置いてあり、それを確認しながら印刷を進める・それでも分からないなら、図書館職員に対応をお願いする。

もっと簡単なやり方で印刷したい場合：

図書館での現在の印刷方法ではなく、総合メディア基盤センターPCでの「印刷データを印刷機に出力し、印刷する」方法を取り入れる。ただ、この場合には、手差し用紙の持ち込みではなく用紙を常備しておくか、誰かの用紙がエラーで使われてしまった場合に、その枚数分交換ができるなどの措置が必要である。

## ○プロジェクターについて

プロジェクターの不良について：プロジェクターがつかないなどの不良の場合には、早い段階でのメンテナンスが必要と考えられるが、授業期間内の不良では、高所に設置された物もあるため、すぐには着手できない。そこで以下の改善案を提示する。

- ・基本的には、長期休業中の間にスクリーンに投影可能かを確認する。
- ・授業期間内の不良が起きてしまった場合には、教室に臨時のプロジェクターを置く対応をする。
- ・そのようなことを想定し、教室のどこにプロジェクターを置けばきれいに投影できるか、それで座れなくなる座席数はどれくらい出るか（授業によっては教室いっぱいに学生が入る場合があるから）の臨時対応マニュアルを作っておく。

スクリーンが見づらい：プロジェクターからスクリーンに投影される資料の解像度や引き延ばしの度合い、座席から資料が見える角度などを理解しておく必要がある。

- ・資料の問題の場合には、解像度を上げる、見やすいカラーリング、投影倍率などに注意を払う。
- ・座席からの角度の問題に対しては、特に大教室の方が該当すると思うが、座席の位置によって見える角度、実際に見る人の首・体への負担を考えた「座席表」を作る。  
(センターブロックは比較的に見やすい、左右ブロックは、センターブロック側からそれぞれ数えて3席目までは見やすい etc.)

## ○パソコン

コモンズのパソコンの台数が少ない：(ラーニング) コモンズに設置されている PC は、部屋自体が24時間入室可能などのメリットがあり、利用している学生の姿もよく見かける。しかし、昼間時は図書館、総合メディア基盤センター、計算機演習室など各所で PC を利用できるが、夜間時、特に夜9時以降になると、PC が利用できるのはほぼコモンズだけとっていいほどである。

- ・できればコモンズの PC 台数を増やすのが望ましい。
- ・空間的余裕がない場合は、例えばテスト期間を挟んだ1か月間は総合メディア基盤センターの PC の利用時間を延ばすなど、今ある場所をもっと使えるようにする。
- ・また、コモンズに夜〇時以降は、コモンズの別教室へのノート型 PC の貸出を可能にするなどの措置を取る。

パソコンの起動が遅い：学校の PC のシステムについてはよくわからない部分もあるが、学生人数分のログインアカウントが存在し、何千人といる中からそのアカウントでログインをするのだから、起動が遅くなるのもなんとなくわかる。しかし、急用でどうしてもこれだけ印刷したいなどの特別な状況においては、配慮することも考えられる。

- ・印刷の場合には、印刷機の項目と関連すると思うが、印刷用 PC を使用する。
- ・ダウンロードしたままいらぬファイルを残しっぱなしにしないなど、機器への負担

を減らす努力をする。

- ・いつがパソコンの接続状況として空いているか、混雑するかの時間帯について調べ、周知する。

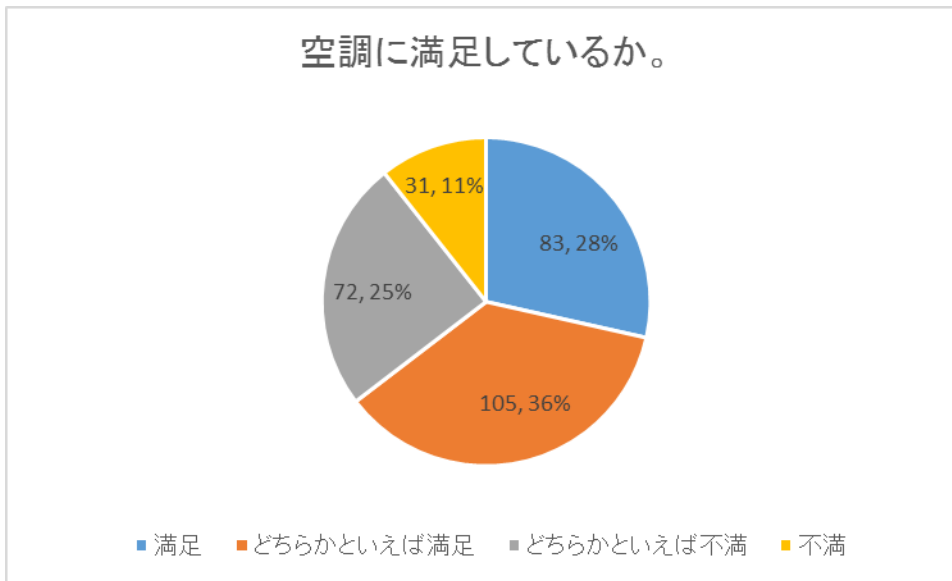
## ○Wi-Fi

Wi-Fi については、宇都宮大学が発信している「uuap」だと想定する。

繋がりにくい・接続方法が面倒：そもそも、携帯会社・通信会社が公表している Wi-Fi は、その携帯（docomo なら docomo、契約済み端末と接続パスワードでのログインなど）にしか適用されないようになっている。uuap に関しては、総合メディア基盤センターから入学時に渡される ID とパスワードを持っている人のみ使えるようにするため、接続方法が難しい面がある。また、人が多く利用する場所・時間帯によっては繋がりにくいということもある。

- ・できれば、uuap への接続がキャリアの Wi-Fi 並みに簡単になること。
- ・PC の項目でも述べたが、繋がりやすい時間帯・場所の周知。

◆ 空調



\*どちらかといえば不満/不満と回答した人の意見

・ 温度

温度調節が出来ない。(寒すぎる/暑すぎる)

エアコンが効いている箇所と効いていない箇所とで差がある。

春や秋などの気温の差が激しくなる時には、一括管理を一旦停止して、暖房・冷房が選べるようにしてほしい。

陽東のラーニングcommonsが暑い。

・ におい

においが気になる。

フィルターの掃除が不十分なのでにおいが気になる。

寒い暑いなどの温度についての不満は、特に8号館についての意見が目立った。

## \*改善案

### ○温度

温度調節について：教室の空調システム、フィルターの汚れ具合、座る席の位置、その人自身の温度の体感度合いによって、寒い、暑いという意見が見受けられると考える。

- ・空調の設置位置や風向の違いなどを鑑みた「座席表」の作成。
- ・季節にかかわらず、各教室にブランケット（を入れた箱）を用意する。
- ・ブランケットは用意するのならば、定期的な洗濯をする。

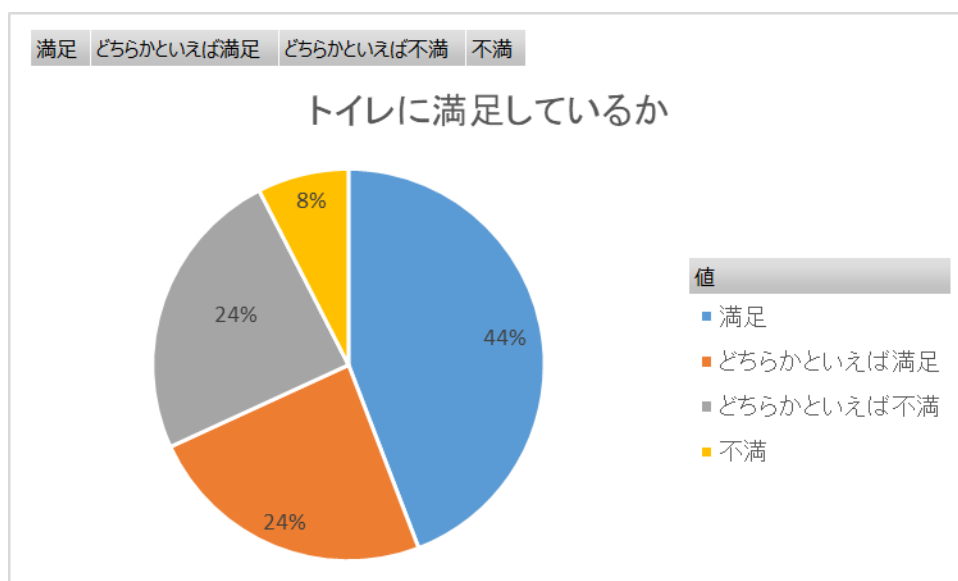
温度一括管理設定の変更：意見にもあがった通り、春や秋などの季節の変わり目、また急な気候変動（夏の夕立など）で寒い、暑いと感ずることがある。そこで、温度一括管理設定されている教室では、ちょっと温かくしたい時に温度を上げても冷風が出るなどの柔軟な対応ができないことがある。これは、上がった意見通り、季節の変わり目には一括管理設定の変更することを望む。

特に、8号館は温度一括管理設定のされている部屋をよく見ることもあったり、学生が授業中に寒い／暑いという仕草、様子が見受けられたこともあった。

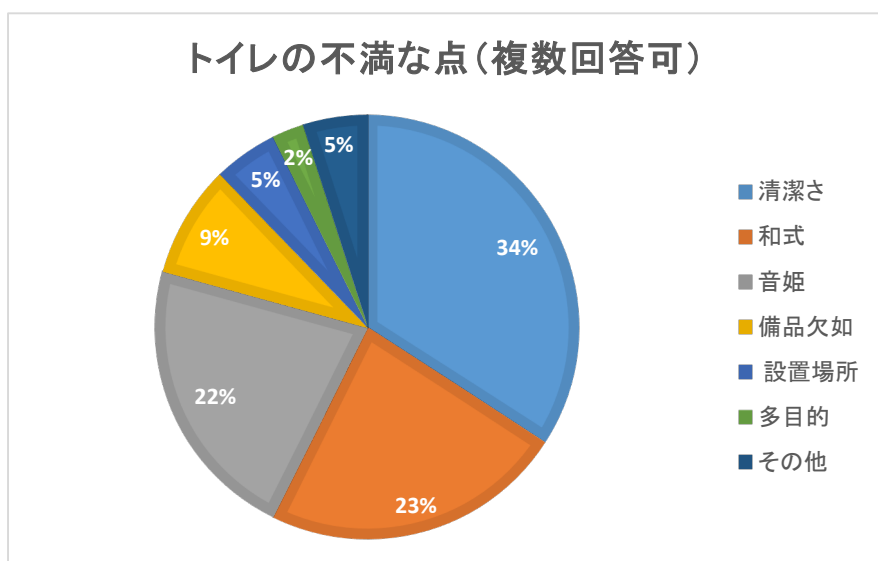
### ○におい

においについては、これはフィルターの掃除をしていないな、と感ずることが多々ある。夏場の酸っぱいにおいや、冬場のほこりっぽい感じなどである。これも、授業期間のうちには掃除をしたくてもできないので、長期休業中、GWなどの大型連休のうちに掃除をする。

## トイレについて



トイレに関して、満足（「満足」「どちらかといえば満足」と回答した学生は、約 70%であり、比較的多くの学生が満足している。



「質問 7」で「不満」と感じている学生によると、「清潔さ」や「和式トイレ」(＝洋式トイレの少なさ)や「音姫」がその理由として多く挙がっていた。少数意見ではあったが、「備品欠如」もこれらに関係しているだろう。

石鹸や消臭剤の不足を指摘する意見が多く、そのような点が「清潔さ」に不満を感じる原因となっている。また、トイレの個室にゴミ箱を設置して欲しいといった意見もあった。峰 5 号館 C 棟や 6 号館にはゴキブリが出るといった記述もあり、そのような点からも「清潔さ」に関する不満が高かったことがわかる。

学生からは、「定期的にトイレの点検をしてほしい」との意見が多く見られ、陽東キャンパス (2 号館)、ラーニングコモンズ、機械棟、峰 4、5、6、7、8 号館が挙げられていた。故障中のままであるトイレ

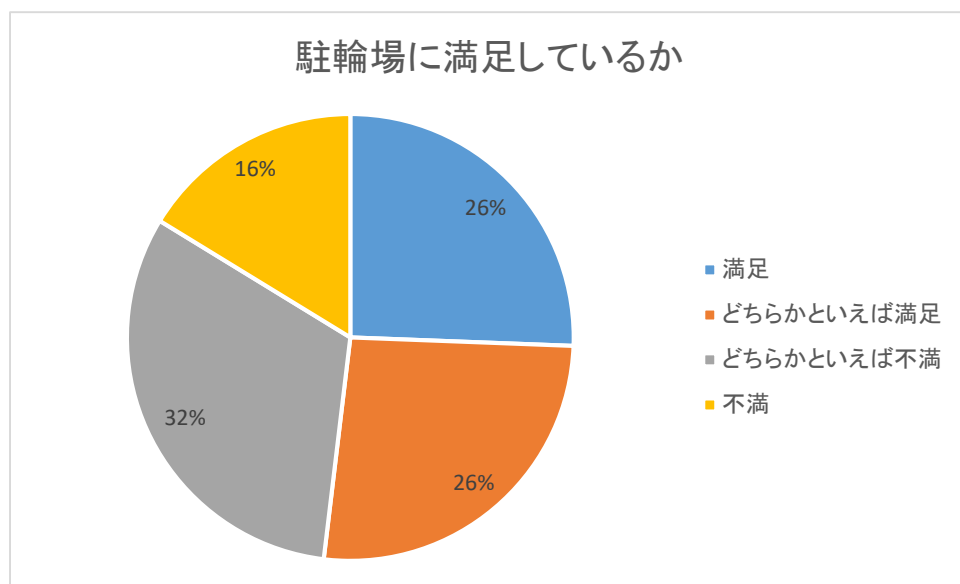
が峰6号館5階などにあったり、照明や音姫が故障していたりすることが指摘されていた。

自由記述では、「水道の出が悪い」、「ドアが閉まりにくい」、「トイレの個室が狭く、圧迫感を感じる」といった設備の不具合や、「機械棟にトイレを増してほしい」という設置場所についての意見もあった。

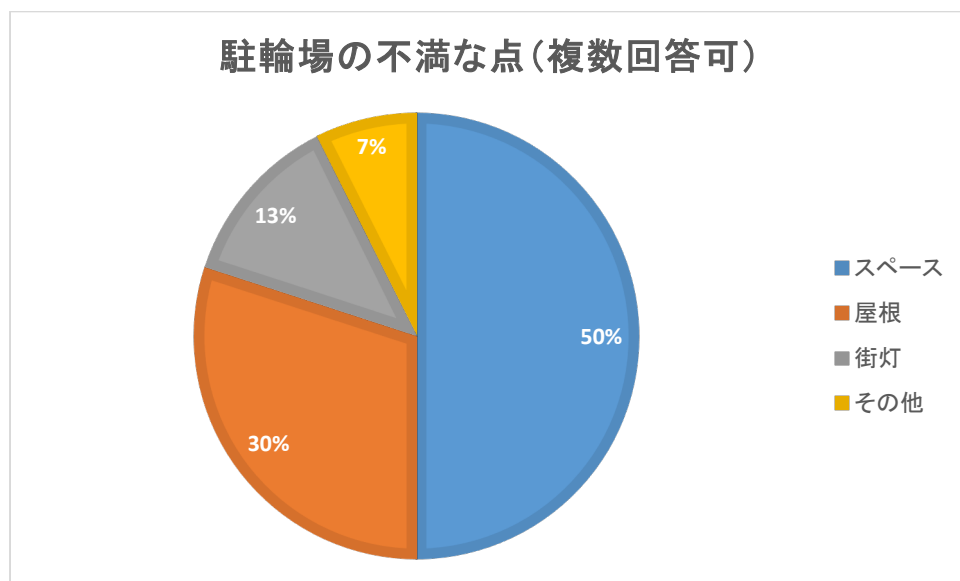
また、「盗撮が多い」との意見もあり、さらに、その共有なされていないことへの不満も挙げられていた。

トイレに関しての不満は、呼び掛けや注意といったことで完結するものでない内容が多く、経済的にも難しいが、大規模な工事ではなく、備品を補充するといった比較的容易なものもあるため、そのようなものから改善し、「清潔さ」のあるトイレであると学生の不満も減るのではないだろうか。

## 駐輪場について



駐輪場への満足・不満の割合はほぼ半分であった。



質問 9 で、「不満」（「どちらかといえば不満」を含む）と回答した理由の多くは駐輪場の「スペース」との回答が多かった。駐輪スペースの広さについては、質問 10-2 の自由記述でも多く挙げられている。敷地のスペースの問題もあるが、それだけでなく、ここには学生の駐輪マナーや放置自転車の問題が影響しているとの記述があった。（質問 10-2 を参照）

次に多かった「屋根」については、峰 1 号館や、6 号館が挙げられていた。「街灯」の問題の具体的な場所としては、峰 8 号館理科棟の自転車置き場やゲノミクス研究棟前が挙げられていた。これらは、場所によっては、充実しているところもあるため、「スペース」ほどの不満は挙がらなかったと考える。

質問 10-1 での回答も含め、特に多く挙がっていたのは、前述したとおり、学生の駐輪マナーについて



である。第一に、学部指定の駐輪場に、他学部の学生が止めることで、指定の学部の学生が止められないことが挙げられていた。具体的には、工学部の場所や国際学部横の駐輪場が挙げられていた。国際学部横に関しては、「図書館やコモンズを利用するために、他学部の学生が止めていることが考えられる」との記述もみられた。

第二に、自転車の止め方についてである。スペースをはみ出して通路に止めたり、点字ブロック上に止めたりしている（大学会館など）自転車が多いようである。また、それにより、「自転車が取り出しにくい」との記述も見られた。これらのことを問題に感じている学生から大学に対し、「注意書きや対策をしてほしい」との意見があった。

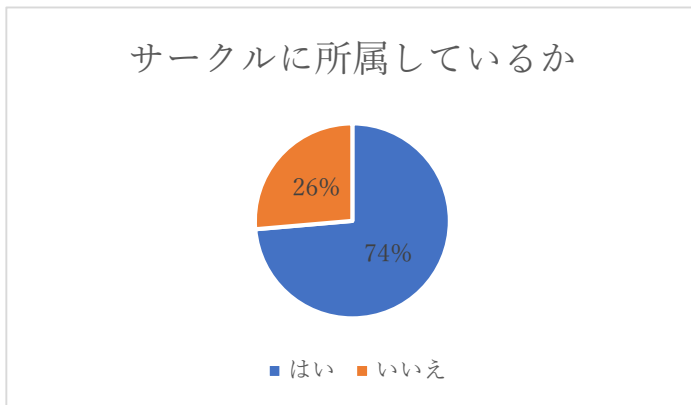
学生のマナーだけでなく、「放置自転車」についての意見も多くあった。使われていないと考えられる自転車がずっと置かれていることを疑問に感じている学生もいる。また、そのような自転車が屋根の下にあるために、屋根のないところに駐輪せざるを得ないとの記述があった（峰8号館北側）。

敷地の問題もあり、駐輪場のスペースを拡大することは容易ではないが、駐輪マナーを改善したり、放置自転車への対応をしたりすることで、駐輪スペースの確保につながるのではないだろうか。

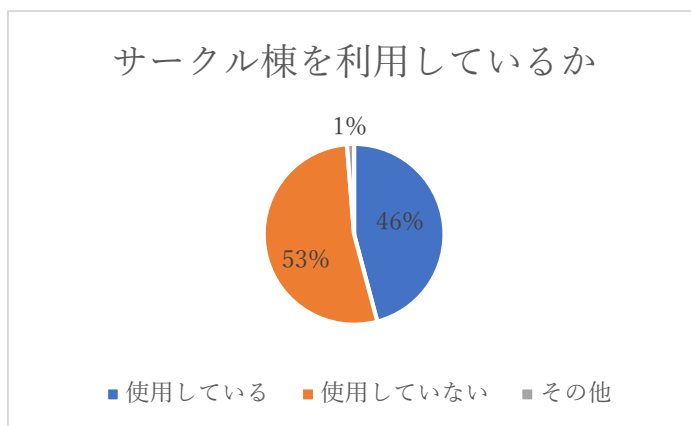
## サークル棟について

ここではサークル棟の使用状況と改善点を調査した。

まず、サークルに所属しているか質問をした。回答者 292 人のうち、「所属している人」が 74%、「所属していない」が 26%となった。



次にサークル棟の使用状況を質問した。回答者 157 人のうち「使用している」が 46%、「使用していない」が 53%、その他回答が 1%となった。



その他、サークル棟の改善点に関して以下のような意見が挙げられた。

- トイレや玄関、床が汚い
- 開放時間を長くしてほしい
- 2階に空調を付けてほしい
- 隣のサークルとの壁がほしい（特に音楽系サークル）
- 人数に見合った部屋の大きさにしてほしい 等々

以上の調査結果より以下のような提案を挙げられる。

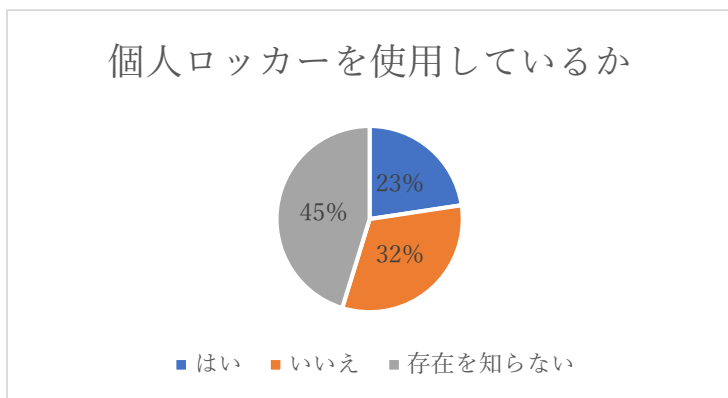
まず、今回の調査から、サークルに所属する学生の中でも、サークル棟を使用していない学生がいることが明らかになった。そのため、今後の展開として、一度どのサークルがサークル棟を使用しているのか、各サークルの在籍人数やサークル棟の利用頻度はどの程度か等を把握し直す必要があると考える。

その上で、今回の調査で明らかになった改善点「清掃面」や「サークル規模・活動内容に応じた部屋の提供」を実施する必要があるだろう。清掃面については、例えばサークル棟を使用する各サークルが、週替わりでトイレや玄関、床などの共有スペースの清掃を担う等が効果的だと考える。また、「部屋の提供」に関しては、音楽系サークルは1階を利用することを促し、その他のサークルは2階を利用することを促すなどサークルの活動内容で場所を指定することによって騒音問題は多少解消されるのではないだろうか。

## 個人ロッカーについて

ここでは個人ロッカーの使用状況と学生のロッカーに対する改善点を調査した。

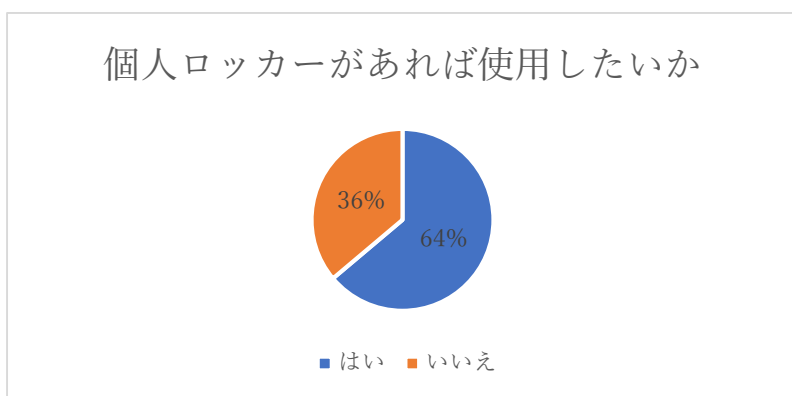
まず個人ロッカーの使用状況を質問した。回答者 168 人のうち、「使用している」が 23%、「使用していない」が 32%、「存在を知らない」が 45%となった。



「使用していない」と回答した人に、なぜ使用しないのか聞いたところ、次のような意見が挙がった。

- 場所を知らない
- 設置場所が不便
- 使う必要がない
- 鍵がないので使用するのが不安
- 小さすぎる 等々

「個人ロッカーの存在を知らない」と回答した方に、もし個人ロッカーがあれば使用したいか質問した。回答者 83 人のうち、「使用したい」が 64%、「使用しない」が 36%となった。



その他、個人ロッカーの改善点に関して以下のような意見が挙がった。

- 学科ごとの格差が大きいのですべての学科に設置してほしい
- 場所や使用方法についての情報を共有してほしい 等々

以上の調査結果より以下のような提案を挙げられる。

まず、本調査より、アンケートに回答した約半数の学生が個人ロッカーの存在を知らないという結果となった。そのうち、約半数の学生は「個人ロッカーがあれば使用したい」と回答したことから、今後は学部問わず、全ての学部に設置を促すことを要求したい。また、「個人ロッカーを使用しない」と回答した学生からは、「設置場所が不便」「鍵がないので不安」等、使用したいが様々な阻害要因によって使用を躊躇する学生がいることも明らかになった。

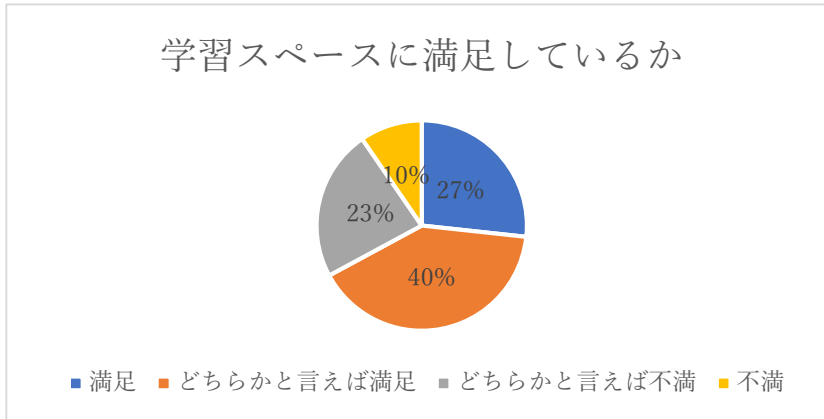
そのため今後は、各学部の主要な建物(国際学部だったら 5 号館 B 棟)といったように、人目に付きやすい場所に鍵をつけた状態で提供することが効果的であろう。それにより、今まで存在を知らなかった学生にも知らせることができ、且つセキュリティ面にも配慮が可能となり、誰もが気軽に利用しやすい状況を生み出すことが出来るのではないだろうか。

」

## 学習スペースについて

ここでは学習スペースの満足度と改善点を調査した。

まず、学習スペースに対する満足度を質問した。回答者 292 人のうち、「満足」「どちらかと言えば満足」と回答した人が全体の 67%となった。



一方で、「どちらかと言えば不満」「不満」と回答した約 3 割の学生に不満点について聞いたところ、以下のような意見が挙がった。

- 教育学部にも 24 時間使えるスペースが欲しい
- 工学部のすべての学科に学習スペースがほしい
- ラーニングコモンズはうるさい人がいる
- 図書館の開館時間が短い
- 飲食可能な学習スペースが少ない
- コモンズにも印刷機がほしい 等々

以上の調査結果より以下のような提案を挙げられる。

まず、学習スペースに関しては約 7 割の学生が「満足」「どちらかと言えば満足」と回答していることから、多くの学生は、現在の学習スペースに満足している傾向があることが明らかになった。自分の学習スタイルや気分に合わせて大学内で学習場所を決めることができる、いわゆる選択の幅が広い点も評価のポイントであると考えられる。

その一方で、各学習スペース（図書館・ラーニングコモンズ等）や学部単位の学習スペースに関する問題点を見逃すことはできない。例えば、教育学部には 24 時間使用可能な学習スペースが設けられていない。特にテスト期間などには夜遅くまで学習したいと考える学生も多く見受けられる。学習スペースの設置が、そうした学生の学習意欲を更に引き上げることに繋がるであろう。

また、既存の学習スペースの設備やルールの改定を求める意見も多数挙がった。あくまでも学習することを目的とした空間である必要はあるものの、学生が快適に過ごせる空間であるべきなのは大前提である。そのため、ルールの改定、例えば土日の図書館の開館時間を 17:00 から 19:00 までに引き延ばす、ラーニングコモンズの個人学習と集団討論のスペースを分けることや、設備の充実としてコモンズに印刷機を設置するなどによって、学生にとってより良い学習空間を作り出すことを要求したい。

## 総括

学内環境の現状については、全体を通して比較的満足している学生が多かった。しかし、学部や棟によって満足度に差がある印象を受けた。一方にはあるが、他方にはないものなどは、不満を感じる理由として挙げられているものが多かった。学内で満足度の高い設備・環境に基準を合わせることで、学生の学内での生活がよりよいものになるだろう。学内環境がよいことは、在学生の学習意欲を高めることにつながるだけでなく、宇都宮大学への進学を考える高校生や、宇都宮大学を利用する地域の方々が宇都宮大学に対して、さらにより印象を持つことができると考える。

アンケート集計・実施により、いくつかの課題も見られた。まず、集計人数が予定していた人数よりも少なかったことが挙げられる。今回、質問紙と web でのアンケートという方法をとったが、Web アンケートは、便利な反面、回答が確実に集まるとは限らない。それゆえ、回答数を確実に得るためには、質問紙を用いる方が良いと感じた。それぞれの方法の利点を考えたうえで、アンケート方法を統一し、実施する必要がある。また、今回の活動に携わった学生が全員で集まる機会が少なく、情報の共有が不十分なこともあった。授業などの関係もあり全員が参加するという事は難しいが、連絡を取りやすい状況づくりを心掛けることが求められる。

また、今回の活動を通して、私たちが過ごしている大学の学内環境に目を向け、その現状を把握し、改善方法について検討することができた。さらに、他学部他学年の学生や大学職員の方々との協働によって、様々な人と関わって、ひとつのことを成し遂げる大変さや重要性を学ぶことができた。ここでの経験を今後の学生生活や社会で生かすことができるよう努めていきたい。

## 実施学生

上吉原美里（教育 4 年）

柳田冴香（教育 4 年）

渡邊敦史（教育 4 年）

和田希歩（国際 4 年）

野村円香（工 4 年）

北條応華（工 4 年）

佐々木健太（教育 3 年）

武田健太（農 3 年）

奥崎亜依里（国際 2 年）

内藤大賀（国際 2 年）

我妻彩華（農 2 年）

中玲蘭（教育 1 年）

工藤瞳（工 1 年）

安田唯菜（地域デザイン 1 年）